# 令和2年度(2020年度)行政評価シート 令和 2 年 8 月 6 日

評価者 共創計画部長 比留間 彰

# ◎ 評価対象分野・施策の方針・目標とすべきまちの姿

総合計画上の 位置付け	分野	総合交通	施策の方針	公共交通機関の輸送力の向上と利用の促進
目標とすべきま	ちの姿	ようになっています。		フリー化が進められ、市民が快適に公共交通機関を利用する より、生活道路の渋滞が緩和されています。

## 1 市民意識調査結果

#### (1) 認知度(回答者全体に占める割合)

取組を知らない・ わからないと答えた人の	令和元年度 (2019年度) 25.1%		平成30年度 (2018年度)	17.7%	平成29年度 (2017年度)	20.7%
割合	平成28年度 (2016年度)	17.8%	平成27年度 (2015年度)	21.9%		

# (2) 妥当性

# 令和元年度(2019年度)

#### お金の使い方

4		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の	必要以上 の効果	0.8%	0.6%	0.6%
効果	ちょうど よい	1.1%	32.3%	1.1%
木	効果不十 分	3.5%	7.5%	21.6%

## 平成30年度(2018年度)

#### お金の使い方

<i>ı</i> ±		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の	必要以上 の効果	1.3%	1.7%	0.5%
効果	ちょうど よい	0.7%	37.5%	1.5%
木	効果 不十分	3.6%	5.6%	25.3%

## 平成29年度(2017年度)

#### お金の使い方

		00 71	07 区 0 7 7 7	
<i>(</i> +		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕 事 の	必要以上 の効果	0.4%	1.2%	0.5%
効果	ちょうど よい	1.6%	36.2%	1.4%
*	効果不十 分	3.0%	7.2%	22.5%

## 平成28年度(2016年度)

## お金の使い方

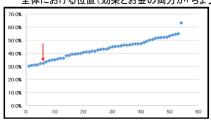
(+		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕 事 の	必要以上 の効果	0.7%	1.8%	0.7%
の 効 果	ちょうど よい	1.2%	41.6%	1.6%
木	効果 不十分	1.4%	3.6%	24.2%

## 平成27年度(2015年度)

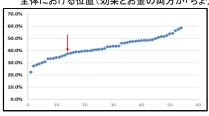
#### お金の使い方

			の並の区の力	
4+	·	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の	必要以上 の効果	0.0%	1.0%	0.1%
効果	ちょうど よい	0.1%	38.1%	2.0%
木	効果 不十分	0.7%	4.1%	25.6%

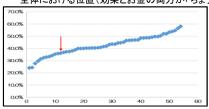
## 全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)



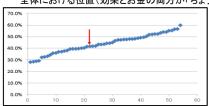
# 全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)



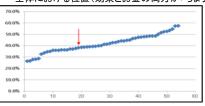
#### 全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)



全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)



全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)



#### (3) 今後の進め方

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答
令和元年度(2019年度)	32.5%	31.5%	5.6%	30.4%
平成30年度(2018年度)	40.8%	34.2%	2.8%	22.1%
平成29年度(2017年度)	36.9%	33.9%	3.2%	26.0%
平成28年度(2016年度)	35.5%	39.6%	2.0%	22.9%
平成27年度(2015年度)	35.2%	35.8%	1.4%	27.6%

#### 2 内部評価

## (1) 令和元年度(2019年度)の目標

①エレベーターが設置されていない利用客数3,000人/日以上の駅(湘南モノレール湘南深沢駅)に関し、交通事業者と協議 、エレベーターの設置に向けた準備を進める。(共創-07)

②鉄道の輸送力向上については、神奈川県鉄道輸送力増強促進会議を通じ、鉄道事業者に対して、要望活動を行う。(共創-07)

# (2) 目標とすべきまちの姿と令和元年度(2019年度)の目標との関連性

①市民が快適に公共交通機関を利用するために、交通事業者と協議し、湘南深沢駅へのエレベーターの設置に向けた調整を 進めて、駅のバリアフリー化を推進していく。(共創-07)

②鉄道の輸送力向上について、神奈川県鉄道輸送力増強促進会議を通じ、鉄道事業者に対して、要望活動を行い、輸送力の 向上をすることで公共交通機関の利用促進していく。(共創-07)

### (3) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

	評価対象事業名	決算値	決算値(千円) 職員費		战員数(人)		今後 方向	性
整理番号	事業名	令和元年度 (2019年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元 年度 (2019 年度)	平成 30年度 (2018年 度)	法定受託 事務	事業内容	予算規模
共創-07	公共交通支援事業	0	16,666	0.5	0.5	無	b	Α

#### (4) 主な実施内容

#### 【主な実施内容】

①エレベーターが設置されていない利用客数3,000人/日以上の駅(湘南モノレール湘南深沢駅)に関し、エレベーターの設置に 向けて、交通事業者と協議を行った。(共創-07) ②鉄道の輸送力向上については、神奈川県鉄道輸送力増強促進会議を通じ、鉄道事業者に対して、要望活動を行った。(共創-07)

# 【実施できなかった事業とその理由等】

## (5) 令和元年度(2019年度)の取組の評価

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	適切	П	要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	適切		要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	適切		要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	適切		要改善
・予定した など現時点 ・また、公共	「の理由、改善を要する点の具体的内容等> 「業に着実に取組んだが、駅等の利用者にとっての利便性は全て改善されておらず(昇降機で改善の見込みがたっていない箇所有)、その対応が求められている。(共創-07) 「交通(特にバス路線)の廃止や減便などが進み、公共交通に代わる新たな移動手段が求めら 有効性、公平性を要改善とした。(共創-07)			

# 3 主な事業における指標(目標ごとに1つ設定)

整理番号 共創-07 事業名 公共	大交通支	え 援事業						
指標の内容 3,000人/ 日以上の利用がある市内の駅のうち、バリアフリー化を達成した駅 単								備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	
移動等円滑化の促進に関する基本方針におい	目標値	18	18	18	18	18	18	
て、3,000人/日以上の利用がある駅はエレベー ター設置等のバリアフリー化をするよう義務付け	実績値	13	14	16.5	16.5	17	17	
られているため。	達成率	72.2%	77.8%	91.7%	91.7%	94.4%	94.4%	